

東京都住宅供給公社 第121回評議員会議事録

1 開催日時

令和2年7月30日（木）午後2時から午後3時まで

2 開催場所 東京都住宅供給公社 本社3階大会議室

3 出席者

(1) 評議員総数 11名

(2) 出席評議員 10名

評議員 村松 一希	評議員 後藤 なみ	評議員 中山 信行
評議員 小松 大祐	評議員 池川 友一	評議員 宮瀬 英治
評議員 石田 大介	評議員 佐々木 宏	評議員 千葉 茂寛
評議員 野口 宏幸		

(3) 出席した役員数 6名

理事長 中井 敬三	理事 松丸 俊之	理事 永島 恵子
理事 千葉 裕	理事 久保田 浩二	監事 廣瀬 秀樹

(4) その他の出席者 14名

公社住宅事業部長、ストック改善担当部長、少子高齢対策部長（ストック活用推進担当部長）、住宅計画部長、住宅営繕部長、営繕・工事監理担当部長、住宅営繕部担当部長（設備担当）、公営住宅管理部長、窓口運営部長、総務部長、総務部担当部長（総務・危機管理担当）、総務部担当部長（経営企画担当）、総務部担当部長（IT推進・契約担当）、総務部担当部長（特命担当）

4 議長

評議員 佐々木 宏

5 議題

第1 令和2年度 事業計画

第2 令和2年度 予算

第3 令和元年度 業務報告

第4 令和元年度 決算

6 報告事項

東京都住宅供給公社一般賃貸住宅の再生事業推進方針
「新しい日常」に向けた JKK 東京の取組

7 議事の経過

- (1) 事務局より、評議員総数11名のうち10名が出席しており、評議員会規程第七条第三項により本会が成立していることを報告した。
- (2) 中井理事長の挨拶の後、佐々木議長が議事録署名人の選出方法を諮り、議長一任の声を受けたため、後藤評議員及び石田評議員を議事録署名人とすることを諮り、了承を得た。
- (3) 佐々木議長は、議題4件及び報告事項2件について一括して公社から説明を受け、その後意見を受けることを評議員に確認し、松丸理事が議題及び報告事項について説明した。

佐々木議長が意見等の有無を確認したところ、評議員から主に以下の意見等があった。

- ・ 公社は政策連携団体として都に政策提言をしながら、より一層柔軟かつ幅広く都政に貢献するよう積極的に役割を果たし、都民にその役割をアピールしていくよう努めてほしい。
- ・ コロナ禍特別支援割引について、すでに収入が減少している世帯も発生しているので、できるだけ早期に導入していただきたい。
- ・ コロナ対策として、家賃引き上げそのものを見送る検討をしていただきたい。
- ・ IoTを活用した見守りサービスについて、早急な検討をしていただくとともに、サービスの価格帯については、高齢者の方々の実態を踏まえて対応していただきたい。
- ・ 公社住宅がある自治体がパートナーシップ証明を発行している場合には、自治体と連携し同居できるように支援していただきたい。
- ・ 窓口センターのお客様対応について、お役所仕事にならないようお客様に寄り添った接遇に取り組んでいただきたい。
- ・ 都営住宅の高齢化が進み、認知症の方が増えている。現地現場で何が起きているか実際に当事者にお会いして確認するようしていただきたい。
- ・ 公社の様々な新しい取組、社会や東京都の課題に応じた取組に対して、しっかりと検証してもらった上で、成果があったものについては、積極的に東京都と情報連携していただきたい。

以上により、第121回東京都住宅供給公社評議員会の議事を全て終了し、佐々木議長は午後3時に閉会を宣言した。

令和2年9月29日

議	長	評議員	佐々木	宏	⑩
議事録署名人		評議員	後藤	なみ	⑩
議事録署名人		評議員	石田	大介	⑩